

講義コード	11C0271900	授業形態	演習	事前登録の有無	なし	担当教員	王 玲	開講期	通年
科目名	中国語Ⅳ								
履修前提条件					備考				
授業の目的	中国語Ⅳは入門初級（中国語Ⅰ・Ⅱ）を終了した者を対象とする二年次配当の中級編に相当し、一年次に学んだ文法的基礎（中国語Ⅰ）や日常的な会話表現（中国語Ⅱ）をもとに、中国語のより実践的な会話訓練を中心に表現力や理解力を養成することを目的とする科目です。この科目は必修科目ではありませんが、本学部で中国語を学ぶ上の、総仕上げ的な役割を担う科目として設定されています。中国語を選択した学生は是非受講してください。ある国の言葉を学ぶ上に、その国の風俗習慣や生活文化などを理解することも重要な課題の一つです。そのため、中国語Ⅳでは会話の内容やリスニング能力をより深める意味においても、中国における日常的な習慣や文化への理解を深められるよう配慮しています。この科目は中国人の教員が担当します。								
到達目標	到達目標としては中級レベルですので、別途開設している中国語Ⅲ（中国語のみ選択した人は必修）と併せて、受講終了時点で中国語検定3級合格のレベルということになります。かなり高い目標ですが、実際に合格者も出ています。是非、頑張ってみましょう。ただ、こうしたレベルに到達するには、正確な発音や中国人の話を聞き取れる能力を身につけることが大切であり、実践的に如何に聞き取るか、如何に表現するかが最も大切でしょう。最も手軽な練習方法は、テキストの本文を自分がそのストーリーの主人公や、ナレーターになったつもりで大きな声を出して、満足できるまで繰り返し読んでみる練習法です。是非実践してみてください。楽しく積極的に取り組まれることを期待しています。								
授業外学習内容・授業外学習時間数	授業に参加する前に、是非テキストの本文を声に出して読んでみてください。辞書を引いたり、調べるたりすることも大切ですが、必ず声に出して読んでみましょう。上記に示した授業外の学習は、30時間を目安に行うこと。								
授業計画	前期15回、後期15回の授業を予定しています。授業はテキストに沿って行います。テキストについては最初の授業で指示しますので、その指示に従って準備してください。 【第1回】 授業ガイダンス テキスト確認 【第2回】 既習レベル確認（発音、文法） 【第3回】 会話表現訓練 第1課 【第4回】 会話表現訓練 第1課 【第5回】 会話表現訓練 第1課 【第6回】 会話表現訓練 第2課 【第7回】 会話表現訓練 第2課 【第8回】 会話表現訓練 第2課 【第9回】 会話表現訓練 第3課 【第10回】 会話表現訓練 第3課 【第11回】 会話表現訓練 第4課 【第12回】 会話表現訓練 第4課 【第13回】 会話表現訓練 第5課 【第14回】 会話表現訓練 第5課 【第15回】 試験前まとめ及び前期期末テスト 【第16回】 会話表現訓練 第6課 【第17回】 会話表現訓練 第6課 【第18回】 会話表現訓練 第7課 【第19回】 会話表現訓練 第7課 【第20回】 会話表現訓練 第8課 【第21回】 会話表現訓練 第8課 【第22回】 会話表現訓練 第9課 【第23回】 会話表現訓練 第9課 【第24回】 会話表現訓練 第10課 【第25回】 会話表現訓練 第10課 【第26回】 会話表現訓練 第11課 【第27回】 会話表現訓練 第11課 【第28回】 会話表現訓練 第12課 【第29回】 会話表現訓練 第12課 【第30回】 試験前まとめ及び後期期末テスト								
成績評価の方法	前期1回、後期1回試験を実施、また随時小テストや作文の提出を求めます。最終成績は、授業への取り組みや学習の状況、試験や提出物の採点結果に応じて評価します。評価の詳細については担当の先生にご確認ください。								
フィードバックの内容									
教科書									
指定図書									
参考書									
教員からのお知らせ	このシラバスは専任の森山秀二が代表して書いています。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。								
その他									